

# しまねの森林

NO. 8

平成19年7月号 通巻248号

## 第10回しまねの農村景観フォトコンテスト 入賞作品



島根県緑化推進委員会会長賞「森に見る『やまぼうし』」吉賀町山林  
大石 豊 \*風景部門



入選「里の彩り」浜田市旭町来尾  
下瀬隆幸 \*風景部門



みーもくん

- 2 **森林のたより**  
**民国連携による森林整備がスタート!**  
林業課 公有林グループ・木材振興室
- 4 **森林のトピックス**  
**隠岐島産スギ材の島外移出が始まりました!**  
隠岐支庁農林局 林業振興・普及グループ  
**経営改善に向けた取り組みを進めています!**  
社島根県林業公社
- 6 **ズームアップ**  
**カートカン(紙製飲料缶)で森林整備の  
必要性と木材の利用をPR!**  
林業課 林政企画グループ・木材振興室
- 7 **森林へ行こう!**  
vol.④ **琴引山** (飯南町)  
**しまねの自然**  
シリーズ⑧ **チョウジガマズミ**
- 8 **森林のQ&A**  
**スギの木はどのように使われていますか?**  
林業課 林業普及スタッフ
- 9 **森林の研究**  
**天敵を用いた新しい松くい虫被害の防除法**  
中山間地域研究センター 森林保護育成グループ



第41回  
林業関係広報コンクール  
**最優秀賞**  
(林野庁長官賞)  
**受賞**

島根県の恵み豊かな自然、  
緑豊かな森林を撮ろう!! **2007『しまねの森林』フォトコンテスト**

**メインテーマは「しまねの森林」です。**

- ◆島根の森林、樹木や山々の風景
- ◆森や樹木と人々がふれあう風景
- ◆野鳥や昆虫などと森や樹木がある風景
- ◆その他森や樹木をテーマとするもの

**スナップ写真大歓迎**

**特選 賞金3万円**  
**準特選 賞金2万円**  
**入選・佳作 記念品**

募集締切り：2007年7月31日(火) 当日消印有効  
※応募規定などはP10をご覧ください



島根県の間伐材を使用した印刷用紙・間伐木ホワイト(国産材(間伐材ハルブ10%を含む)70%を配合)を使用しています。

# 森林のたより

## 民国連携による森林整備がスタート!

林業課 公有林グループ・木材振興室

### 表紙の説明

#### ◇第10回しまねの農村 景観フォトコンテスト 入賞作品

島根県と島根県土地改良事業団体連合会では、県内の農村風景を写し、鑑賞することで、広く県民の皆様に、食料、農業、地域の現状を知っていただき、優れた農山村の景観を保全する県民意識の高揚を図ることを目的に「ふるさと・水と土保全基金事業」の一環として「しまねの農村景観フォトコンテスト」を開催しています。表紙の作品は、入賞作品のうち本誌のイメージにふさわしい作品をお借りしたものです。

#### ◇森林・林業総合情報誌 「しまねの森林」は、第 41回林業関係広報コン クール最優秀賞(林 野庁長官賞)を受賞し ました!

(社)全国林業改良普及協会が主催する第41回林業関係広報コンクール広報誌部門において、本誌が最優秀賞(林野庁長官賞)を受賞しました。編集にご協力をいただきました関係各位、並びにご愛読の皆様へ深く感謝申し上げます。

#### ◇2007「しまねの森林」 フォトコンテスト締切迫る!

「しまねの森林」発行委員会では、テーマを「しまねの森林」として、フォトコンテストを開催しています。樹木や森林などのスナップ写真をお気軽にご応募下さい。

詳しくは、本誌10ページのインフォメーションをご覧ください。

### ■『森林整備に関する覚書』の締結



「森林整備に関する覚書」調印式 (H19.5.18)  
(写真左から 梅津準士近畿中国森林管理局長、松尾孝孝島根県副知事、伊藤文彦緑資源機構中国四国整備局長)

島根県、近畿中国森林管理局及び独立行政法人緑資源機構中国四国整備局は、民有林と国有林が連携して、効率的な森林整備を行っていくために、『森林整備に関する覚書』を締結しました。

5月18日に島根県庁で行われた調印式では、多様で豊かな森林づくりと森林資源の循環利用を継続的に進めていくため、“①それぞれの森林が重点的に発揮すべき機能に応じた森林整備の積極的な実

施 ②森林共同施業団地を設定し、効率的な施業の実施による生産性の向上、木材の安定的な供給体制の確立 ③必要な作業路網の開設及び維持管理について、国有林と民有林が一体となって計画的に実施”等を内容とした覚書に三者が調印しました。

この覚書の締結により、国・県・個人など所有者の異なる森林の団地化による森林施業の共同実施や効率的な作業路網の配置などが可能になり、作業区域の集約化によって、間伐等の保育や木材の生産において、コストダウンなどのメリットが生じます。

今後は、この覚書に基づいて、県内に森林共同施業団地を4年間で約50箇所(約1万ha)設定し、これらの団地から間伐材を中心に年間約2万2千<sup>3</sup>m<sup>3</sup>の木材を安定供給する計画としており、「新しまね森林・林業活性化プラン後期施策」で推進する木材生産団地化の“しくみ”の1つとして、県内における林業労働者の雇用創出や木材産業の活性化などに貢献できるものと期待されています。

### ■森林共同施業団地“第1号”を設定～『八川地域森林整備推進協定』の締結

『森林整備に関する覚書』に基づく第1号の森林共同施業団地として、斐伊川の源流に位置し、神話とたたら製鉄で知られる仁多郡奥出雲町の八川地域における『八川地域森林整備推進協定』を、覚書の締結と同日に締結しました。

未来を見つめ、人と自然と産業の豊かな調和をめざします。

## 農林中央金庫

松江支店

松江市殿町175 TEL (0852) 21-4411

緑と水を育む豊かな森を明日の世代へ

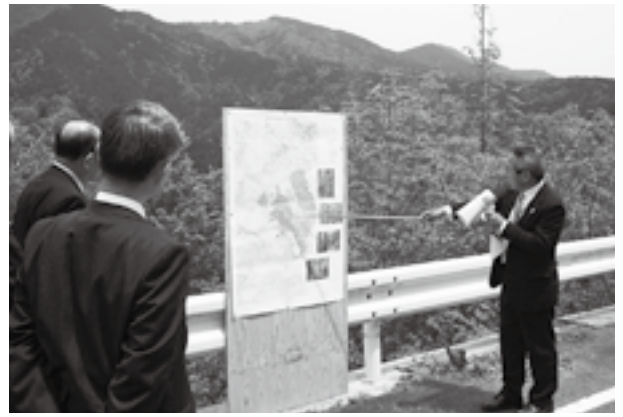
— 制度資金のご融資を通じて地元林業を応援します —

## 農林漁業金融公庫

松江支店

〒690-0887 松江市殿町111番地(松江センチュリービル7F)  
TEL : 0852-26-1133 E-mail : matsue@afc.go.jp  
FAX : 0852-24-5334 HP : http://www.afc.go.jp

この協定により設定された「八川地域森林共同施業団地」は、総面積298haで、島根森林管理署が管理する八川国有林94ha、島根県が管理する県行造林8ha、緑資源機構が管理する分収林142ha、仁多郡森林組合が施業委託を受けて管理する私有林54haを一体とするまとまりのある森林です。団地内は、何れも植栽してから40年から50年を経過したスギやヒノキの人工林で、これまでは採算面などから切り捨て間伐が行われてきました。これから利用間伐や主伐の時期を迎えるにあたって、それぞれの造林地を通る効率の良い作業道を連携して開設することにより、森林施業の集約化が図れ、お互いにメリットが生まれることから今回団地の設定に至ったものです。



「八川地域森林共同施業団地」の現地説明（H19.5.18）

具体的には今後5年間で、私有林・国有林併せて、作業道の開設を11,120m、森林整備（主に利用間伐）を124ha実施する計画となっています。

### ■ 民国連携のスタートを記念して関係者が植樹

奥出雲町発の新たな取り組みが全県的な広がりを見せ、地域の森林資源の利用促進につながるるとともに、多様で豊かな水と緑の森林づくりの推進に貢献することを願い、今回の覚書、協定書の締結を記念した記念植樹が関係者によって行われました。奥出雲町八川地域の名所「奥出雲おろちループ（国道314号線）」のふもと広場に、奥出雲町の木「モミジ」8本を植栽し、記念の標柱を建てています。

県西部地域においても、第2号、第3号の団地化に向けた検討が関係者間で行われており、早ければ今夏にもそれぞれの地域森林整備推進協定が締結される予定です。

## 私有林と国有林の連携による森林共同施業団地



みんなを守ろう!

森林保全の輪を広げる活動を展開しています。

# 森林を守ろう!山陰ネットワーク会議

事務局 山陰合同銀行地域振興部内 松江市魚町10 TEL.0852-55-1820

## 隠岐島産スギ材の島外移出が始まりました!

隠岐支庁 農林局 林業振興・普及グループ

### 『隠岐島産スギ材の島外移出出荷式』の開催

隠岐流域林業活性化センターを中心とした隠岐地域の林業関係者の努力が実り、このほど、佐賀県伊万里市の「(株)伊万里木材市場」に向けた隠岐島産スギ間伐材の出荷が実現しました。

初夏の“風”が吹く6月8日(金)、隠岐の島町の「隠岐小田材木団地」において、隠岐流域林業活性化センターの主催する『隠岐島産スギ材の島外移出出荷式』が、地域の林業関係者など約100人の参加により盛大に開催されました。

当日は、今年4月に就任した溝口善兵衛島根県知事のほか、出荷先となる「(株)伊万里木材市場」の林雅文代表取締役の出席をいただき、来賓の方々による“テープカット”ならぬ“丸太カット”の後、運搬船が九州の伊万里木材市場をめざして華々しく出港しました。

### ■隠岐(しま)の木利用拡大に向けて

隠岐島後地域では、戦後いち早くスギの造林が進んだため、スギ資源の成熟度は県下トップレベルとなっており、木材資源を活用しながら森林整備を実施する転換期を迎えています。しかし、島内の木材需要は近年低迷し、生産量も減少しています。

一方、全国的には大手木材製材加工業界で、合板や集成材等に国産スギ材の積極的な活用が進んできています。このため素材価格も上昇傾向にあって、島外への移出はビジネスとして大きな可能性が出てきています。

今年度の島外移出は、試行的に年間3回、約1,500㎡を出荷する計画となっていますが、来年度以降も継続して取り組み、さらに出荷量を拡大する予定となっています。そして、この取り組みは、地域林業の活性化につながる“風”となるよう関係者から期待されています。

隠岐地域においては、今回の取り組みをはじめ、「隠岐(しま)の木利用拡大プロジェクト」として、島内の豊富なスギ、マツを中心に、島外への出荷を含めた需要拡大と供給体制の整備、販売ルートの確立を図り、隠岐の木の利用拡大を進めていくこととしています。



式典に出席した溝口善兵衛島根県知事



“丸太カット”



運搬船に積み込まれる隠岐島産スギ間伐材

### 森林の中で働く人のお手伝いをします

1. 林業労働者の募集
2. 新規就労者及び雇用主に対する研修
3. 林業就業促進資金の貸付
4. 高性能林業機械の貸付
5. 林業雇用に関する情報の提供・相談その他の援助
6. 雇用改善のための啓発活動

### 島根県林業労働力確保支援センター (社団法人 島根県林業公社内)

松江市母衣町55番地4(松江商工会議所ビル6F) TEL(0852)32-0253 FAX(0852)21-4375  
E-Mail shimane-roukakuc@forestry-shimane.or.jp



# 経営改善に向けた取り組みを進めています！

社団法人 島根県林業公社

## ■経営計画の実行

島根県林業公社では、林業経営を取り巻く環境が厳しい中、「第二次林業公社経営計画（平成16～25年度）」を策定し、当初予想された収支見込額▲643億円（事業終了時）を平成20年度末までに351億円圧縮することとして、現在、様々な経営改善対策に取り組んでいます。

## ■分収契約の見直しと債務負担の軽減対策

経営方針を長伐期施業へ転換して、水土保全林内の契約地を長伐期へ契約変更しています。そして、高金利の公庫借入金を低金利の施業転換資金に借り換えるなど、今後の利息負担を圧縮しています。

また、松くい虫被害等で将来収入が見込めない契約地について実態調査に基づいて契約を解除し、公庫借入金の繰上償還を行っています。

## ■効率的な森林整備と木材販売収入の確保

施業基準の見直しを行い施業コストの縮減に努めるとともに、効率的な森林整備を行うため造林地の現況

調査を進めています。

また、木材の販売収入を確保するため積極的に利用間伐へ取り組み、販売収入を得ることにより借入金の縮減を図るとともに、間伐材の供給と林業事業体の育成に努めています。

## ■県民理解への取り組み

県民参加のイベントとして「森と遊ぼうin林業公社」を毎年開催し、林業体験を通して森林整備の必要性についての県民理解を進める活動を行っています

また、林業公社の情報を広く公開するため、森林GISを活用したホームページや、広報誌の発刊など情報発信にも努めています。



森と遊ぼうin林業公社

## ◆第二次経営計画に基づく経営改善（H14～20年度の取り組みにより351億円の収支改善を図る）

△643億円 → △292億円

項目	主要な計画事項	実績					計画 H19～20年度	評価と進捗状況
		H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度		
の 分 収 契 約 の 見 直 し	①長伐期への契約変更 (計画：1561団地)	40件	161件	69件	153件	181件	600件	△
	②不成績林の契約解除 (計画：459ha)	132ha	67ha	81ha	101ha	92ha		○
の 債 務 負 担 の 軽 減 策	①施業転換資金の活用 (計画：193億円)	153.2億円	2.8億円	18.5億円	9.7億円	3.5億円	5.4億円	○
	②繰上償還の実施 (計画：21億円)	0.4億円	0.4億円	0.4億円	2.4億円	7.3億円	10億円	○
の 森 林 の 整 備 と 確 保	①施業コストの縮減と 効率的な森林整備		・新植の凍結 ・施業基準の見直し	・新基準による 森林整備			・造林地調査	△
	②利用間伐の推進 (計画：526ha)	5ha	21ha	・利用間伐の推進 105ha	117ha	103ha	214ha	○
の 組 織 と 経 営 の 理 化	①理事会のスリム化		・理事15名→13名	・理事3名→2名	・理事13名→12名 ・監事1名→会計士			
	②事務局組織の見直し			・監督員5名減	・嘱託員1名減 ・監督員6名減	・専務が局長兼任 ・木材販売担当配置	・嘱託員3名減	○
の 県 民 理 解	①情報公開の充実			・森林GISを活用した HPの公開	・広報誌「林業公社だ より」の発行	・HPの更新	・「林業公社だより」 の発行、HPの更新	○
	②森林・林業に関する 普及啓発の推進			・「森と遊ぼうin林業 公社」の実施				○
経営改善の効果見込額		104億円	28億円	23億円	35億円	44億円	(117億円)	67%

島根県林業公社のホームページ <http://www.chusankan.jp/shimane-ringyou-kosya/>

## 自然との調和

### 松くい虫防除薬剤

ヤシマスミパイン乳剤  
ヤシマスミパインMC  
マツグリーン液剤2  
モリエート SC

### 松くい虫駆除薬剤

バークサイドF  
ヤシマ NCS  
ちゅらシート

### 松くい虫予防薬剤

グリーンガード・エイト

### 瞬間殺蜂スプレー

ハチノックL・S



**ヤシマ産業株式会社** 広島営業所  
〒732-0825 広島市南区金屋町2-14 6F (協友アグリ棟内)  
TEL 082-261-0052



## カートカン(紙製飲料缶)で 森林整備の必要性和木材の利用をPR!

林業課林政企画グループ・木材振興室

### ■カートカン(紙製飲料缶)の意義

森林は、地球温暖化の防止等地球規模での環境保全機能、国土の保全や水源のかん養等の人々の安全安心な生活を広く支える機能など、多面的機能を有しています。森林から生産される木材は、森林が吸収した二酸化炭素を炭素として貯蔵することや再生産可能な資源であることから、その利用は地球温暖化の防止や循環型社会の構築に寄与するものです。

カートカンは、原料の紙に間伐材などの国産材が30%以上使用されている紙製飲料容器です。カートカンの普及は、国産材の利用促進につながり、昨年12月に島根県が策定した「新しまね森林・林業活性化プラン後期施策」でも

提唱している木を伐って、使って、植える、「林業の循環システム」の構築に寄与する取り組みです。

そして、このカートカンの原料の一部となっている間伐材は、主に中国地方や九州地方から供給されており、島根県を含む地域の森林整備への貢献が期待されています。

### ■島根県庁4階フロアに間伐材木枠付き自動販売機を設置

島根県では、ユニバーサルデザインのカートカン専用自動販売機を展開している株式会社ポッカコーポレーションとタイアップして、島根県産ヒノキ間伐材の木枠を取り付けた自動販売機を、農林水産部林業課・森林整備課のある本庁舎4階フロアに設置して、森林整備の必要性和木材の利用促進をPRしています。

今年4月に設置されたこの間伐材木枠付き自動販売機の取り組みは、中国5県の県本庁舎では初の取り組みで、今後県内の公共施設等へも波及するよう努めていくこととしています。

### ■身近な製品への間伐材等の国産材利用の促進

最近、カートカンをはじめとして、日常生活の中でよく目にする封筒、名刺などの製品に間伐材等の国産材を原料として利用しようとする活動が活発になってきています。国は、平成17年度からこうした活動を「木づかい運動」として積極的に展開し、特に10月を「木づかい推進月間」に定めて全国規模でのPR活動を行っています。身近な製品での国産材の利用は、住宅や家具などに比べて消費者の購買機会も多く、幅広い利用につながるものとして注目されています。皆さんもこれらの製品を是非利用してみてください。



(株)ポッカコーポレーション資料



## Present

**カートカン飲料3本セットを30名様にプレゼントします。**

〈ポッカコーポレーション提供〉

締め切り8/31(金)必着

【応募方法】 はがきに①郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号 ②今回の「しまねの森林」で面白かった企画・記事、御意見・要望、森林・林業に関する質問・疑問などをご記入のうえ、下記へお送りください。当選者の発表は商品の発送に返させていただきます。

※商品のセット内容は選択できません。

※ご記入の個人情報はプレゼント以外に使用いたしません。

〒690-8501 松江市殿町1 島根県庁林業課内「しまねの森林発行委員会」



# 森林へ行こう! vol. 4

## こと びき やま 琴 引 山

●飯南町／標高：1,014m

琴引山の山頂直下には、出雲神話で有名な「おおくにぬしのみこと大国主命」をお祀りする「ことびきやま琴弾山神社」があります。

「出雲風土記」には、「この山の峰に岩窟あり、その中に大国主命の御琴あり・・・よって琴引山という」と記述されており、「大国主命」が山腹の祠に住み、琴を弾じて、政務を司られたという神話の山で、かつてはこの山頂付近に42坊の寺院があって修験場となっていたとも言われています。

松江市宍道町から国道54号線（出雲神話街道）を広島方面に

向かって約1時間ほど車を走らせると、琴引フォレストパークスキー場の看板



琴引フォレストパークスキー場にある案内看板



南方向から遠望した琴引山

があります。このスキー場が登山口となっており、レストハウスの近くに案内看板も設置されています。

登山口から約1時間、途中に「弦の清水」、「琴弾山神社」を過ぎて山頂へ至ります。山頂からは三瓶山や日本海、天気良ければ隠岐の島まで展望でき、「大国主命」の国造り構想がこの山で練られたという雄大な神話のロマンを感じることができます。  
(H. N)

## しまねの自然 シリーズ ⑧

島根県内の森林には、多くの注目すべき植物が自生しています。このシリーズでは、このうちの樹木を中心に紹介していきます。

### ■ チョウジガマズミ (スイカズラ科)

島根県内に自生するガマズミのなかまには、コバノガマズミ、ミヤマガマズミ、ガマズミの3種が一般的によく知られています。これら3種のガマズミは、県内の里山の比較的身近な場所でふつうに見ることができますが、今回紹介するチョウジガマズミは珍しいガマズミで、めったにお目にかかれない樹木です。

4～5月ごろ、枝先に20個ほどの小さな花をまとめてつけます。写真のように、花が咲く前のつぼみの時は淡い紅色をおびており、これも魅力の一つです。また、花には芳香があり、多くの昆虫たちが寄ってきます。このほか、枝や葉に毛（星状毛）を多くつけているのも、見分けるポイントの一つです。名前は、花の形が「丁」の字に似ているところからつけられています。

島根県内では、隠岐島と立久恵峡にしか自生していません。立久恵峡ではまれにしか見ませんが、隠岐島では島前にも島後にも比較的多く自生しており、道



チョウジガマズミ

路沿いの岩場の山裾などで見かけることができます。

自生地は中国地方以西で、県外では広島県の帝釈峡や香川県の小豆島などごく限られた地域にしか自生していません。花が美しく、盗採などによる絶滅のおそれがあるため、環境省のレッドデータブックでは準絶滅危惧種に、改訂版しまねレッドデータブックでも準絶滅危惧種に選定されています。

〔緑化センター管理スタッフ 佐藤仁志〕

## スギの木はどのように使われていますか？

林業課 林業普及スタッフ

### ■近くの山のスギの木が利用できる大きさに育ってきています。

島根の山には約7万9千ha（宍道湖の約10倍の面積）のスギ林があります。スギの木は一般的に植えてから40年ほど利用しますが、このスギ人工林の約4割がこの樹齢以上に育ってきています。スギ林では間伐を行いますし、40年以上のもっと高い樹齢になるまで育てることもあります。

### ■年間の成長量を上回らない範囲での伐採が大切です。

スギの木を伐採する量は、その成長量と調和していなければなりません。スギ林は、時々刻々と成長していますので、私たちはその成長した分だけを利用できることとなります。これはちょうど、銀行に預けた元金はそのままにしておいて、利息分だけ使うのと同じ考え方です。

### ■昨年、一昨年は丸太に換算して9万6千㎡のスギの木が島根の山から生産されました。

この丸太の生産量を立木に換算すれば、おおよそ12万8千㎡になります。島根の山のスギ林の年間の成長量は59万8千㎡ですから、現在の4倍以上毎年伐採しても、その分、また植えることを前提とすれば、スギ林の資源は維持できる計算です。

### ■素材生産業者や森林組合の林産班の人たちが伐採、搬出しています。

山の所有者から立木を買い取った人や、伐り倒して運び出すことを所有者から頼まれた人が、山に入ってスギの木を伐り倒します。これを伐採と言い、この仕事を専門にする人（素材生産業者や森林組合の林産班）が木の使い道を考えながら、枝を切り払って長さを決めて丸太に切断します。この丸太が山から運び出されて（搬出）、色々な用途に使われています。

### ■製材品や合板あるいはチップに加工されて使われています。

山から伐採、搬出されたスギの丸太の多くは原木市場に持ち込まれ、製材工場の人たちが買い取って持ち帰り、柱や板などに加工して、地元の大工さんや工務店、あるいは県外の専門問屋などへ販売されています。また、山から直接合板工場へ持ち込まれ、合板に加工されて商社経由で専門問屋へも販売されます。そのほか、パルプ原料としてチップに加工されるものもあります。丸太に換算した量で9万6千㎡のうち、製材向けに6万1千㎡、合板向けに2万9千㎡、チップ向けに6千㎡ほど使われています（平成17年）。



県産スギを利用した  
カラマツ・スギ複合合板



県産スギをふんだんに使った「しまねの木の家」

### ■「しまねの木の家」にも使われています。

県産スギ材をふんだんに使い、長持ちするような建て方でコストも低減できる、人と環境に優しい木造住宅が「しまねの木の家」です。「しまねの木の家」推進センター（社団法人島根県住まいづくり協会内）が主体となり、「しまねの木の家」の情報提供を行っています。

### ■近くの山のスギを使って林業システムを循環させましょう。

これからは、近くの山のスギを適期に“伐って”、上手に“使って”、また“植える”、林業システムを循環させることによって、森林の整備を進め、地域の活力回復につなげましょう。（専門林業普及員 中山茂生）



株式会社 **もちだ園芸**

本社 出雲市渡橋町 398 電話(0853)21-2051  
FAX(0853)21-5452  
松江営業所 松江市東津田町 1727 電話(0852)26-9713  
米子営業所 米子市旗ヶ崎 2314 電話(0859)29-5748  
石見支店 浜田市国分町 212 電話(0855)28-2372  
直営農場 出雲市所原町 775 電話(0853)48-0267

植物油 生分解性オイル  
**YSバイオチェーンオイル**

エコマーク認定番号 第04110009号・特許 第3513132号

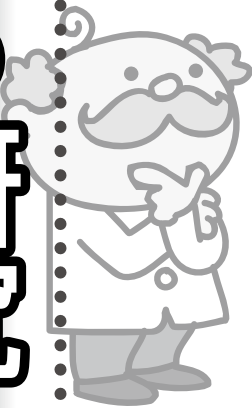
●全国をネットする総合潤滑油メーカー

**ヤナセ製油株式会社**

本社/06-6939-1251・米子営業所/0859-27-2933



# 森の研究



## 天敵を用いた新しい松くい虫被害の防除法

中山間地域研究センター 農林技術部 森林保護育成グループ

### ■はじめに

従来、松くい虫被害対策は病気の運び屋であるマツノマダラカミキリを化学農薬で駆除する方法が主体でした。当センターでは化学農薬を用いない、環境に配慮した駆除方法として、昆虫に寄生してこれを殺虫するカビの一種、ポーベリア・バッシアーナを用いた駆除試験を行ってきました(写真1)。このほど、この菌を使った「製剤」が生物農薬として登録され、一般でも駆除に用いることが可能になりました。



写真1 菌に感染・死亡したカミキリ

### ■駆除のしくみと野外網室試験の結果

カミキリ成虫は被害材から脱出すると、飛び立とうとして上方に移動します。そこで、あらかじめ伐倒・集積した被害材の上に「ポーベリア菌」を培養した製剤(不織布)を設置しておけば、これにカミキリを接触・感染させて殺虫することができます(写真2)。このとき、カミキリが菌に接触しやすくするために、集積木全体をシートで被覆します。

平成15、16年にセンターの野外網室で駆除試験を行いました。被害材積0.1㎡に対し1枚の製剤(幅×長さ:5×50cm)を設置して、シートから脱出したカミキリを個体別に飼育して生存日数等を調査しました。その結果、捕獲後2週間以内の死亡率(産卵せず、次世代を残さないうちに死亡)は、80~93%と高い駆除率を示しました。



写真2 被害材に設置した天敵製剤更に全体をシートで被覆

### 現地試験の実施 ~より効果的・低コストでの利用法をめざして~

平成18年に隠岐の島町内のクロマツ被害林で、この製剤を使った駆除試験を約1haの面積で実施しました。そして、試験区内に発生する枯死木の本数を駆除実施前年と比較しました。その結果、駆除を行わなかった林では枯死木の数が増加したのに対して、ポーベリア菌での駆除を行った場所では、前年度より枯死本数が減少しました(表1)。試験地Bでは枯死本数が余り減っていませんが、これは試験地周辺に駆除されず放置された枯死木から発生したカミキリの飛び込みによって枯死本数が増加したためと推察しました。今後は、更に試験を重ね、簡易で効果的な使用方法について研究して行きたいと考えています。

表1 各試験地の駆除実施後の枯死木本数

試験地	成立本数	実施前 枯死本数	実施後 枯死本数	増減率 (%)
A(駆除実施)	1,249	43	18	42
B(駆除実施)	929	70	63	90
C(未実施)	804	56	94	168

※本数は●当りに換算  
増減率は駆除前の枯死本数に対する値

(専門研究員 福井修二)

## 社団法人 島根県森林土木協会

### 森林整備のアシスタント

- ① 森林土木事業の促進
- ② 森林土木技術の開発・普及
- ③ 森林土木事業の測量・調査・設計及び施行管理の受託
- ④ 保安林解除・林地開発許可等の設計(業務受託)

松江市母衣町55林業会館  
TEL:(0852)21-2669  
FAX:(0852)21-2231  
E-mail:sima-sdk@axel.ocn.ne.jp

## インフォメーション

元気がでる!

島根県民の森  
飯石郡飯南町小田

### 県民の森へ行こう!!

7月～10月のイベントの御案内

《県民の森ふれあい講座》

申込先：県民の森研修館 TEL 0854 (76) 3119

- ◆7/29(日) キャンプ教室(定員20名)
- ◆8/5(日) 昆虫採集教室(定員20名)
- ◆9/22(土) 初秋のきのこ狩り(定員50名)
- ◆10/14(日) 秋のきのこ狩り(定員50名)
- ◆10/20(土) クラフト教室(定員20名)
- ◆10/28(日) 紅葉のブナ林観察会(定員20名)

その他にも《県民の森オープン講座》、《森林スキルアップ研修》などのイベント・研修を開催しています。

詳しい情報はホームページをご覧ください。

<http://www.chusankan.jp/mori/>

### メールマガジン『しまねの森林』メンバー募集中!

森林・林業・木材産業に関する各種の情報を満載したメールマガジンを配信します。

◆配信内容

配信周期…毎月1回 料金…無料

主な内容…行政情報、イベント情報、募集情報、木材市況など

◆登録方法

メールマガジンを受信するための手続きは簡単です。

パソコン・携帯電話からアドレスringyo@pref.shimane.lg.jpへ次のメールを送信していただければ、登録完了となります。

宛先	ringyo@pref.shimane.lg.jp
題名	メルマガ登録
本文	ご職業 (例)林業 お住まいの市町村 (例)出雲市

身近な自然に親しもう!触れ合おう!

### 「里山自然塾」に参加してみませんか?

島根県立ふるさと森林公園  
松江市宍道町佐々布

ふるさと森林公園を管理している島根県立緑化センターでは、公園内の自然を活用したイベントの一環として里山自然塾を年間12回開催しています。

8月～10月の講座の御案内

- ◆8/5(日) 第5回講座～間伐材丸ごと利用その2「間伐材丸太で動物をつくろう」
- ◆9/2(日) 第6回講座「秋の里山を全身で感じてみよう」
- ◆10/14(日) 第7回講座「秋の里山でキノコを探そう」

◇参加料：無料

◇募集人数：20～30名(先着順、事前申し込みが必要です。)

◇申込方法：ふるさと森林公園森林学習展示館 TEL 0852 (66) 3586

島根県の恵み豊かな自然、  
緑豊かな森林を撮ろう!!

## 2007 『しまねの森林』フォトコンテスト

(森林・林業総合情報誌)

※募集締切・応募テーマ・表彰は表紙参照

応募規定

- ◇お一人で何点でもご応募いただけます。ただし、応募作品は未発表のものに限ります。
- ◇肖像権侵害などの責任は負いかねます。応募に際しては必ず本人の承諾を得てください。
- ◇作品サイズは、キャビネ(2L)とします。
- ◇デジタルカメラの場合、合修正は不可です。
- ◇入賞作品の著作権は、主催者に帰属します。原版、電子データ等の提出が必要です。
- ◇応募作品の中から、「しまねの森林」ほかの広報に使用する場合があります。
- ◇応募作品は原則として返却しません。ただし、送料(郵券)同封で応募のあった返却希望者には、審査終了後返却します。

応募方法

必要事項を記入した応募用紙を、作品の裏側にセロテープでとめてご応募ください。

応募先

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地 島根県庁林業課内  
「しまねの森林」発行委員会事務局 TEL 0852-22-5158

審査発表

森林・林業総合情報誌「しまねの森林」の紙面に入選作品を掲載のうえ発表します。

### しまねの森林フォトコンテスト応募用紙

住所 \_\_\_\_\_

TEL ( ) \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ ( ) 才

職業 \_\_\_\_\_

撮影場所 \_\_\_\_\_

撮影年月 \_\_\_\_\_

作品タイトル \_\_\_\_\_

主催/「しまねの森林」発行委員会・島根県

### 環境にやさしい紙製飲料容器「カートカン」 POKKA



ポッカは「3.9木づかい運動」を応援しています。

ポッカコーポレーション  
<http://www.pokka.co.jp/>



安全・安心・美味しい  
日本産原木しいたけ栽培を応援します

### 財団法人 日本きのこセンター 三次支所

広島県三次市島敷町916-2 (三次地方卸売市場内)  
TEL 0824-63-1226 FAX 0824-63-2012



**林業・木材製造業  
労働災害防止協会  
島根県支部**

〒690-0886 松江市母衣町55  
林業会館3F  
TEL 0852-21-3852  
FAX 0852-26-7087

**森林の緑を守り、緑を育てる**

- 主要販売品目—  
 ◎林木苗畑（除草剤、殺虫、殺菌剤）  
 ◎松くい虫防除薬剤（スミバインMC、林業用NCS）  
 ◎林地除草剤（フレノック粒剤、ザイトロンフレノック微粒剤）  
 ◎樹幹注入剤（ネマノン、グリーンガードエイト、マツガード）

**山陽薬品株式会社 島根支店**

〒690-0011 松江市東津田町1252  
TEL(0852)23-3721(代) FAX(0852)27-5322



**育てよう 豊かな緑と 豊かな心**

- ・「緑の募金」は、だれもが参加できる身近な森林ボランティアです。
- ・寄せられた募金は、自主的な森林整備、緑化推進、緑の少年団などの活動支援を通じて地域に還元されます。

**島根県緑化推進委員会の賛助会員を募集しています**

年会費：年間1口10,000円から(法人)、2,000円から(個人)

**(社)島根県緑化推進委員会**  
(特定公益増進法人)

松江市母衣町55 島根県林業会館内  
TEL(0852)21-8049 FAX(0852)21-8231  
<http://www.shimane-green.or.jp/>

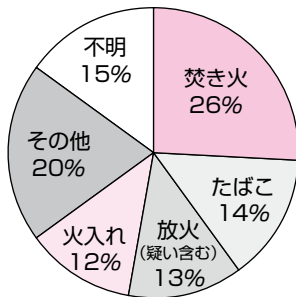
**山火事注意!!**

～伝えたい、森のやさしさ、火のこわさ～

いったん発生した山火事を消火することは容易ではありませんし、人命の危険を伴うこともあります。

また、一度失った森林は、その回復に長い年月がかかるなど、人々の心に大きな爪跡を残します。

山火事の原因



**みなさんの心掛けで山火事は予防できます**

備えて安心、**国営森林保険** 詳しいお問合せは……

最寄の 森林組合・森林組合連合会・県庁森林整備課 まで  
お気軽にお問い合わせください。



**サンケイ化学の松くい虫防除資材**

多目的使用(空中散布・地上散布)が出来る

**スミバイン®MC**

伐倒木用くん蒸処理剤

**キルパー®**

松枯れ防止樹幹注入剤

**グリーンガード®・エイト**

お問い合わせは 県森連・森林組合へ

**サンケイ化学株式会社 大阪営業所**  
大阪市淀川区西中島4-5-1 TEL 06(6305)5871

新発売 散布用薬剤

**モリエート®SC**

伐倒木くん蒸用生分解シート

**ピオフィレックス®**

マツノマダラカミキリ成虫誘引剤

**マダラコール®**

**除草はおまかせ下さい!**

非農耕地用除草剤

**テンレート**

AZ粉剤・AZ粒剤

日本カーリット株式会社

九州営業所

福岡市博多区博多駅前1-4-4

☎(092)473-6521

FAX(092)451-8195

クス株処理剤

**グンゴウ** 液剤

1株一ワンブッシュ 経済的

野津善助商店

本社 八東郡東出雲町大字錦浜583-10

☎(0852)53-0670(代)

FAX(0852)53-0674

E-mail: notsu@tx.miracle.ne.jp

育林、林産、森林土木、造園等の施工管理

緑を育て水をはぐくむ



**大和森林株式会社**

代表取締役社長 権 名 宜 三

本社 〒690-0001 島根県松江市東朝日町87番地6 ☎(0852)21-6222(代)

営業所 松江 ☎(0852)21-6223(代) 鳥取 ☎(0857)24-4620(代) 益田 ☎(0856)22-4824(代)

三次 ☎(0824)64-0433 岡山 ☎(0867)67-2345

# 現地フラッシュ

林業普及レポート

農大だより

## 広域

### 低コスト作業路 現地検討会を開催！

- 日時:平成19年6月27日(水)
- 場所:飯南町井戸谷  
程原国有林



県庁林業課

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kentyou/>

## 松江

### 八雲中学校緑の少年団 下刈り作業体験！

- 日時:平成19年6月28日(木)
- 場所:松江市八雲町熊野  
松江市有林



東部農林振興センター

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-matsue/>

## 雲南

### 高尾小学校の樹木教室！ どんな音がするのかな？

- 日時:平成19年6月14日(木)
- 場所:奥出雲町高尾  
高尾小学校校庭



東部農林振興センター雲南事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kisuki/>

## 出雲

### 佐田中学校緑の少年団 「下刈り実習」

- 日時:平成19年7月6日(金)
- 場所:出雲市佐田町吉野  
緑の募金公募事業地



東部農林振興センター出雲事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-izumo/>

## 浜田

### 緑の雇用担い手研修 を開催！

- 日時:平成19年7月3日(火)
- 場所:浜田市金城町下来原  
石央森林組合



西部農林振興センター

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-hamada/>

## 県央

### 祝！石見銀山・世界遺産登録 しまね企業参加の森づくり 「ごうぎん希望の森・石見銀山」保全活動

- 日時:平成19年7月7日(土)・8日(日)
- 場所:大田市大森町  
石見銀山近郊森林



西部農林振興センター県央事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kawamoto/>

## 益田

### 匹見小学校 緑の少年団の森林教室

- 日時:平成19年6月7日(木)
- 場所:益田市匹見町匹見  
裏匹見峡



西部農林振興センター益田事務所

URL : [http://blog.goo.ne.jp/f-masuda\\_001/](http://blog.goo.ne.jp/f-masuda_001/)

## 隠岐

### 地域のマツ林を 地域で守る！(防風松林を守る会)

- 日時:平成19年6月10日(日)
- 場所:隠岐の島町伊後外  
防風松林



隠岐支庁農林局

URL : [http://blog.goo.ne.jp/f-oki\\_001/](http://blog.goo.ne.jp/f-oki_001/)

## 農大

### 草との格闘！ 苗畑の除草を学ぶ

- 日時:平成19年7月13日(金)
- 場所:飯南町上来島  
中山間地域研究センター



島根県立農業大学校森林管理科

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-nodai/>

しまねの森林

NO. 8

平成19年7月号  
通巻248号

発行:「しまねの森林」発行委員会

島根県森林組合連合会・島根県林業改良普及協会・島根県森林土木協会・島根県緑化推進委員会  
島根県林業公社・島根県木材協会・島根県猟友会・緑資源機構松江水源林整備事務所

編集:島根県農林水産部 林業課林政企画グループ

発行日:平成19年7月25日

ホームページアドレス:

林業課 <http://www.pref.shimane.lg.jp/ringyo/>

森林整備課 <http://www2.pref.shimane.lg.jp/shinrinseibi/>